

タピネット

札幌市自立支援協議会

東区地域部会

号外 令和8年2月発行



東区地域部会では、強度行動障がい支援に携わる支援者の育成を目的として、「強度行動障がい支援者育成モデル研修」を実施しています。

この研修は「標準的な支援についての理解を深める」「事例を通じて具体的な支援方法について知る」「支援者間のネットワークの向上」を目的とし、基礎的な内容の確認とともにグループワーク等の演習を多く取り入れた構成となっております。

今年度最後となる今回は、「支援手順書とPDCAサイクル」がテーマでした。研修のポイントは以下の2点です。

- ・支援手順書の書き方について理解を深める
- ・支援の実施、ひょうか、修正の必要性について学ぶ

支援についての共通認識を持つためには「支援手順書」による支援方法の統一と共通言語が重要です。今回は「支援手順書」を活用し、その書き方についての理解を深めていきました。

後半は3～4名のグループに分かれて、それぞれが利用者役、支援者役、記録役となり、支援手順書通りに支援をすることを体験していただき、記録をとっていただきました。その後、各自が持っている情報を共有し、支援手順書の修正と2回目の支援実施までの流れを体験していただきました。



演習では、みなさん役割を真剣に演じており、意見交換も活発に行われていました。

研修の中では、だんだんと顔なじみの関係性ができ、新たな繋がりの方が生まれています。ぜひ、ご興味のある方は、参加してください。継続的かつ実践的な学びの場で支援力の向上と支援者同士のつながりを強めていきましょう。

【次回のお知らせ】

本年度の強度行動障がい支援者育成モデル研修は終了いたしました。

たくさんのご参加ありがとうございました。また令和8年度、お会いできることを楽しみにしております。

主 催：札幌市自立支援協議会東区地域部会

